



問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 森 弘和

電話 022-363-0111 (内線 2530)

平成 27 年 8 月 14 日

第二管区海上保安本部

午前 10 時 発表

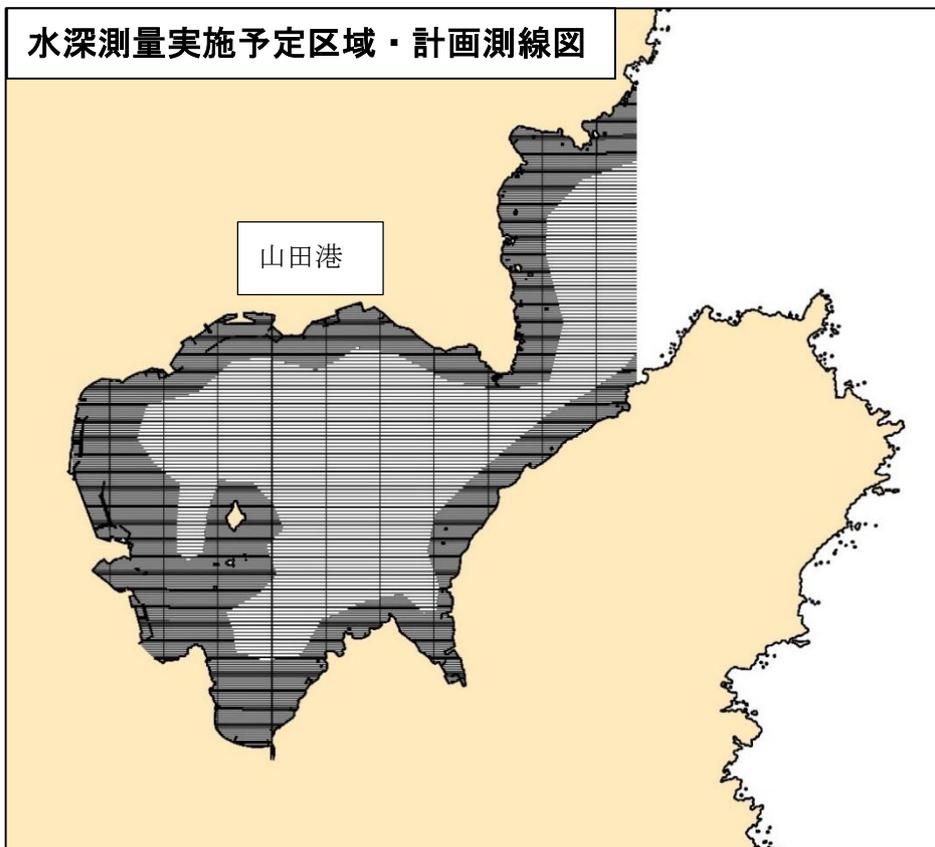
山田港を測量船「天洋」により水深測量します

今回の測量により東日本大震災で被災した東北地方の港湾で船舶が出入港する際に使用する海図が刊行されている 21 海域のすべての水深測量が終了します。

第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は 8 月 19 日から 9 月 10 日までの間、測量船「天洋」(船長伊藤孝)により山田港(岩手県)の水深測量を実施します。

震災対応の水深測量として、平成 27 年度末までに船舶が港湾に出入港する際に使用する海図が刊行されている管内 21 海域が水深測量の対象となっておりますが、今回の山田港を実施することで 21 海域すべての水深測量を終了します。



測量船は、雑巾掛けをするように計画した測線を往復します。

左図の黒い実線は、今回の水路測量の計画した測線で、水深によって間隔を変えて測量しています。



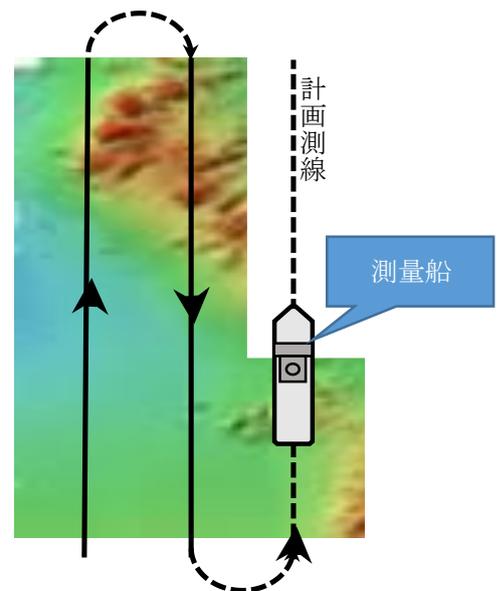
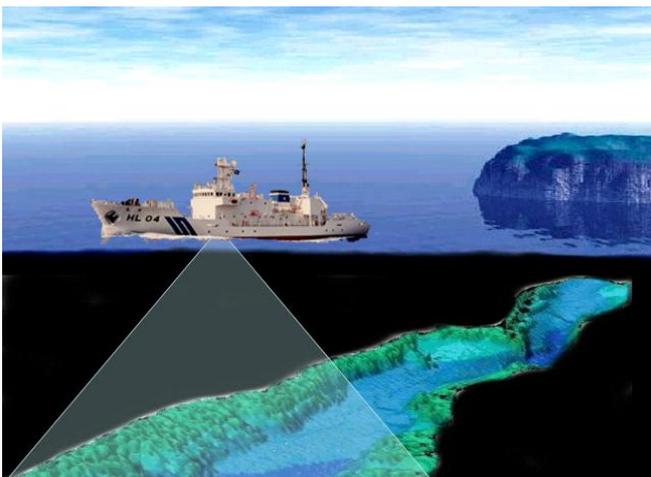
測量船「天洋」の概要



塩釜航路航行中の天洋

- ・ 総トン数 430 トン
- ・ 主要寸法 56.0×9.8×5.0m
(全長×巾×深さ)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

水深測量の概要



測量船から海底に向けて広角に音波を出し、音波の往復時間と水中での音の速度から水深を計測します。

船の航跡に沿って水深の約3倍以上の幅で海底地形を明らかにすることができます。

被災港湾の水路測量

